

# アカデミックキャリア委員会特別企画 働き方改革と共存する男女共同参画医療

## AC-2 急性期脳卒中治療にかかわる女性医師の在り方

久留米大学医学部 脳神経外科

森岡 基浩

我が国においては年間30万人の患者が脳卒中を発症している。この患者数は人口の減少にもかかわらず少しずつ増加しておりその原因としては、1) 高齢者における発生率が高率であり、2) 我が国においては高齢者が増加していることが主な原因であると考えられている。脳卒中患者は今後も増加することが予測され、脳卒中により高介護度の高齢者がさらに増加することが危惧されている。

近年では脳卒中治療は“faster is better”と言われ、発症から超早期に医療機関へ搬送、診断、治療開始することにより予後の改善、障害度軽減が可能となりつつある。更に脳卒中・循環器病対策基本法が可決され脳卒中对策のさらなる充実が必要となっている。しかしながら脳卒中にかかわる医師の数はまだ不十分であり24時間体制の緊急対応の各地域への普遍的な対応体制の確立は困難であるのが現状である。

我が国においては脳卒中の緊急対応は主に脳外科医が行っている。現在脳神経外科医の数は約1万を超えてきたが、この中で女性脳外科医は約5%でありその中でも結婚、出産など現時点で臨床の現場で働ける医師はその半数程度考えられている。私たち久留米大学には女性医師が10%を超えており脳卒中治療にも積極的に取り組んでいる。女性脳外科医は脳神経外科を希望した時点で救急疾患への意識が高く、その臨床能力も他科医師にくらべて遜色なく非常に優秀であり脳卒中治療に参加することで単なる員数だけではなくその治療内容の貢献に非常に助かっているのが現状である。この女性医師達が将来の人生設計を変えることなく今後の脳卒中治療、脳神経外科へ参加し、スキルアップしてゆくための方法について当科の取り組みと今後の展望について考察する。

### 森岡 基浩

昭和54年 私立愛光学園高等部卒業  
 昭和60年 熊本大学医学部卒業  
 昭和60年 熊本大学医学部 脳神経外科 入局  
 昭和61年 熊本赤十字病院 脳神経外科  
 昭和63年 熊本大学大学院医学研究科  
 テーマ：脳虚血による神経細胞死のメカニズムと治療  
 平成4年 熊本大学医学部医学博士学位 取得  
 平成4年 済生会熊本病院 医員 脳神経外科  
 平成5年 熊本労災病院 副部長 脳神経外科

平成7年 熊本大学脳神経外科 医員  
 平成9年 熊本大学脳神経外科 助手  
 平成16年 熊本大学脳神経外科 講師  
 平成17年 熊本大学脳神経外科 准教授  
 平成23年 久留米大学脳神経外科 主任教授

資格 日本脳神経外科学会専門医  
 日本脳卒中学会専門医

受賞 平成5年度 日本脳神経外科学会 ガレーヌス賞  
 平成10年 日本脳卒中の外科学会 優秀ポスター賞  
 平成18年 熊本医学会奨励賞  
 平成22年 日本脳卒中の外科学会賞（鈴木賞）